

图 1 長期測水井戸地点

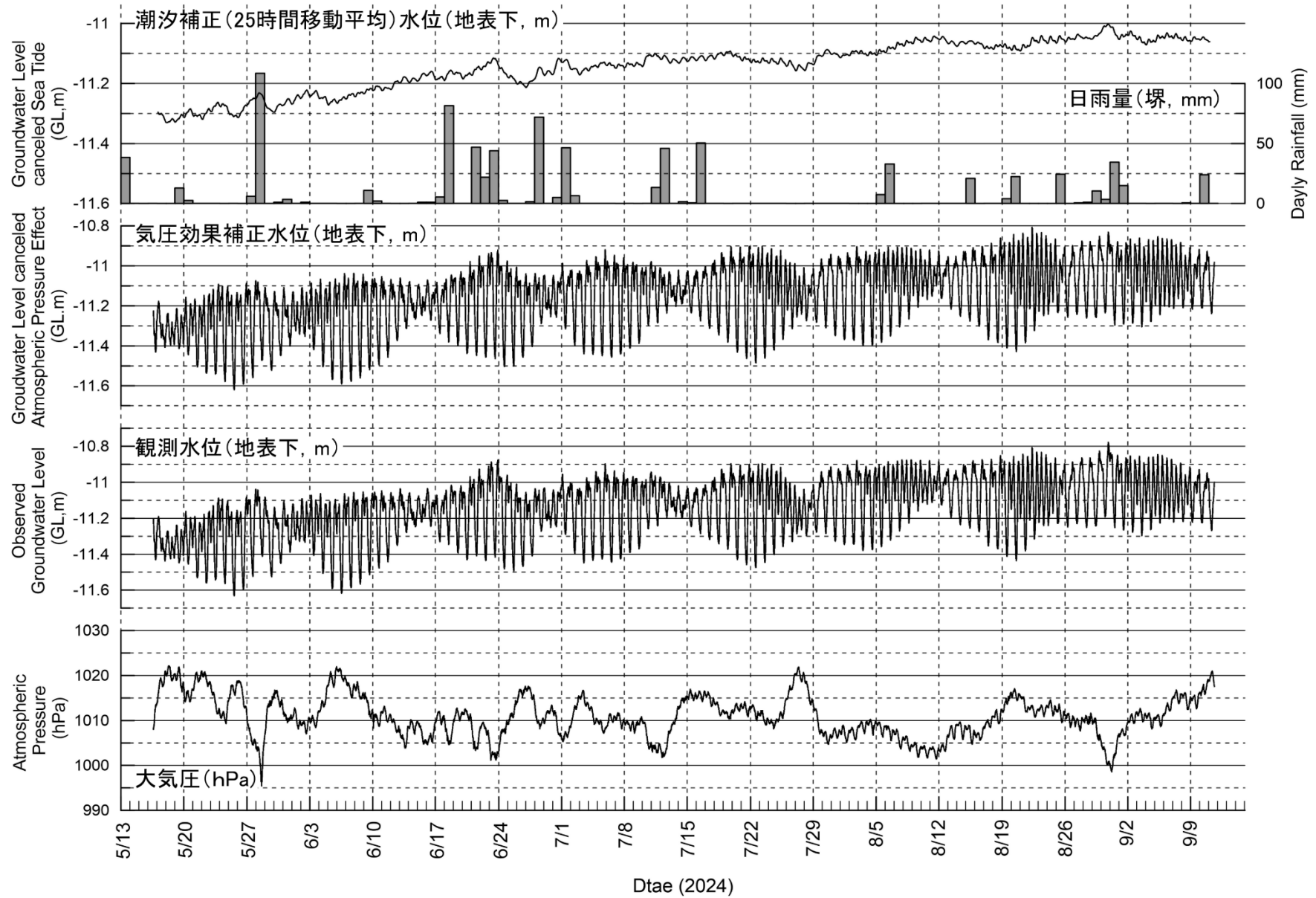


図2 大阪市此花区施設 L2 の地下水位観測結果

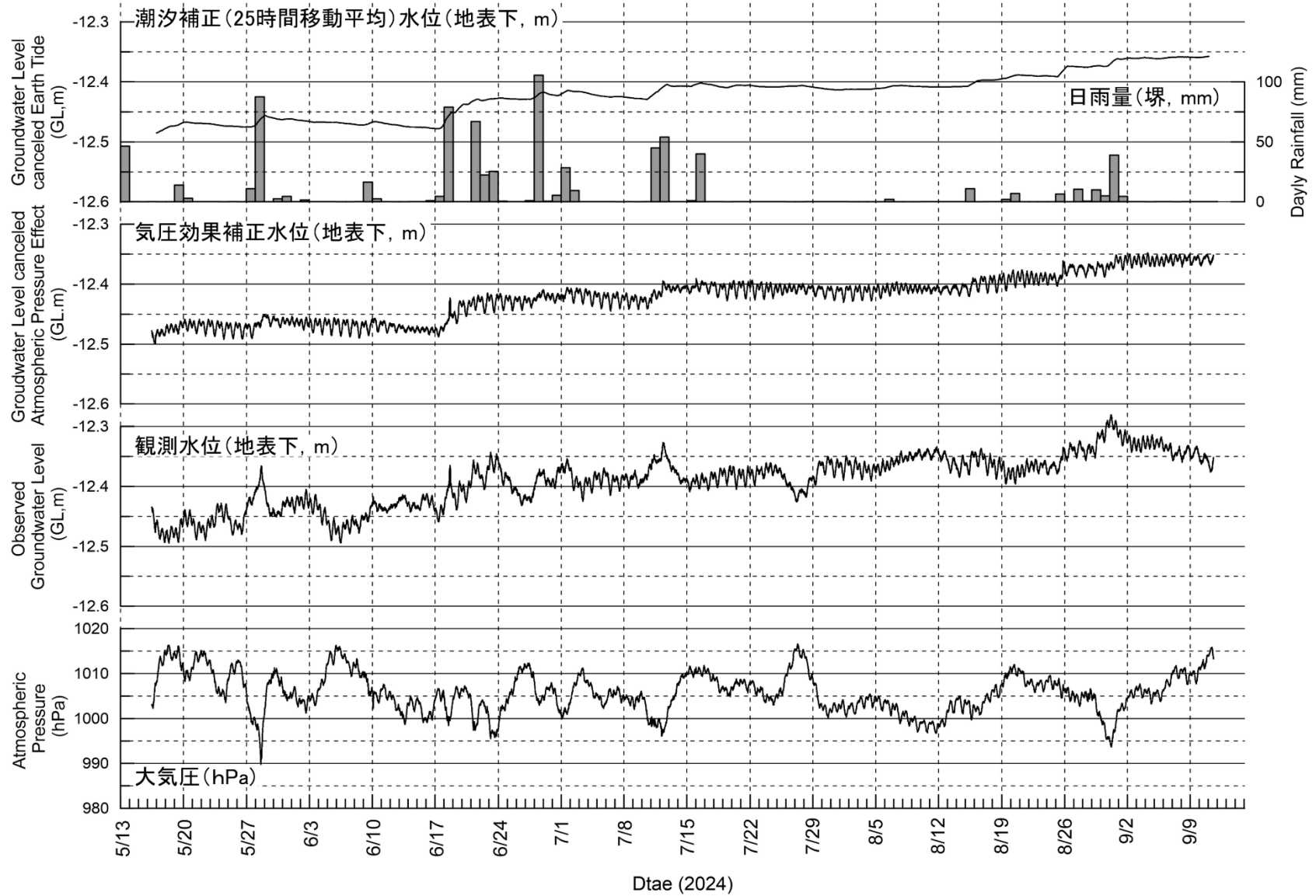


図3 和泉市施設 L3 の地下水位観測結果

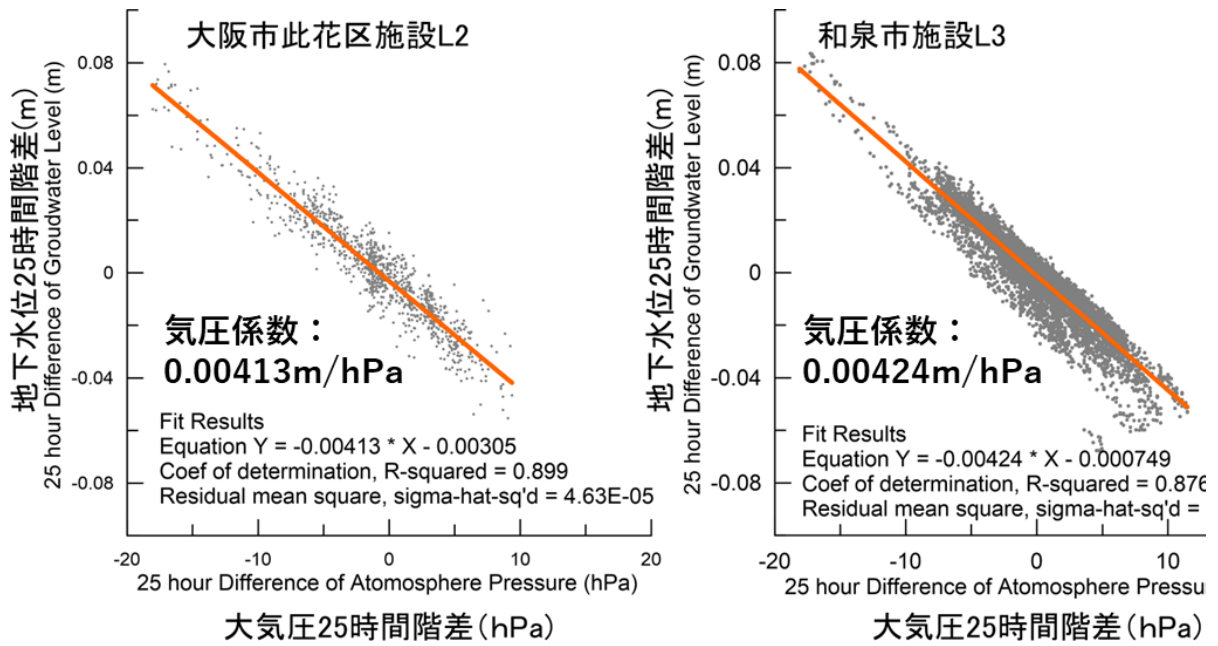


図4 大気圧に対する地下水位の相関 (25 時間階差)

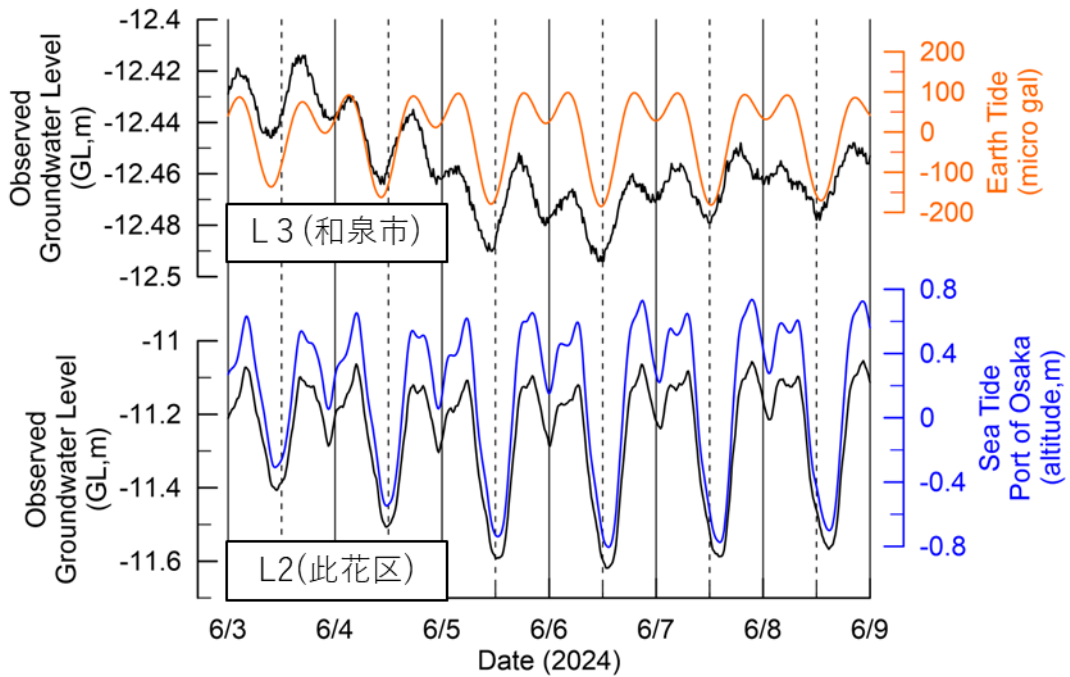


図5 2地点の地下水位変動と地球潮汐 (海面・固体潮汐)

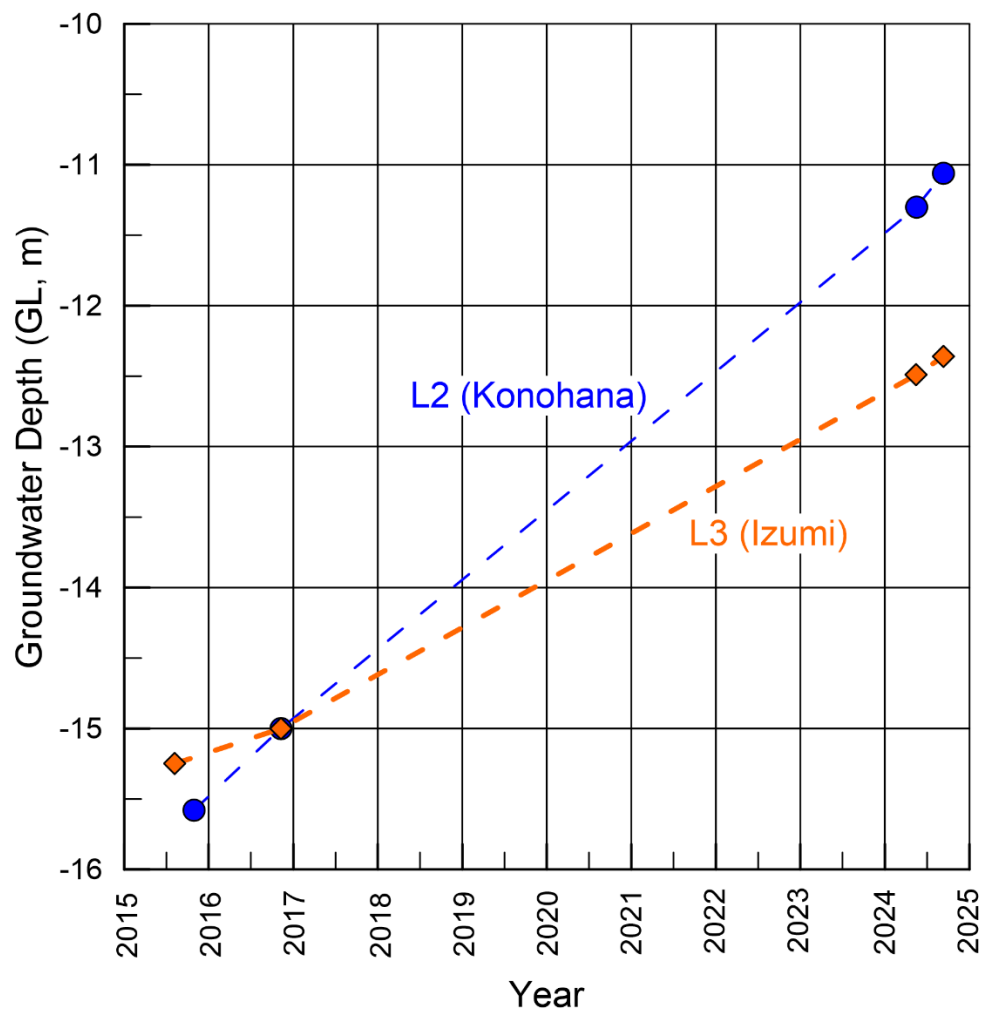


図6 2016年度調査と今回調査の水位変化
 (水位の値は測定開始時と終了時)

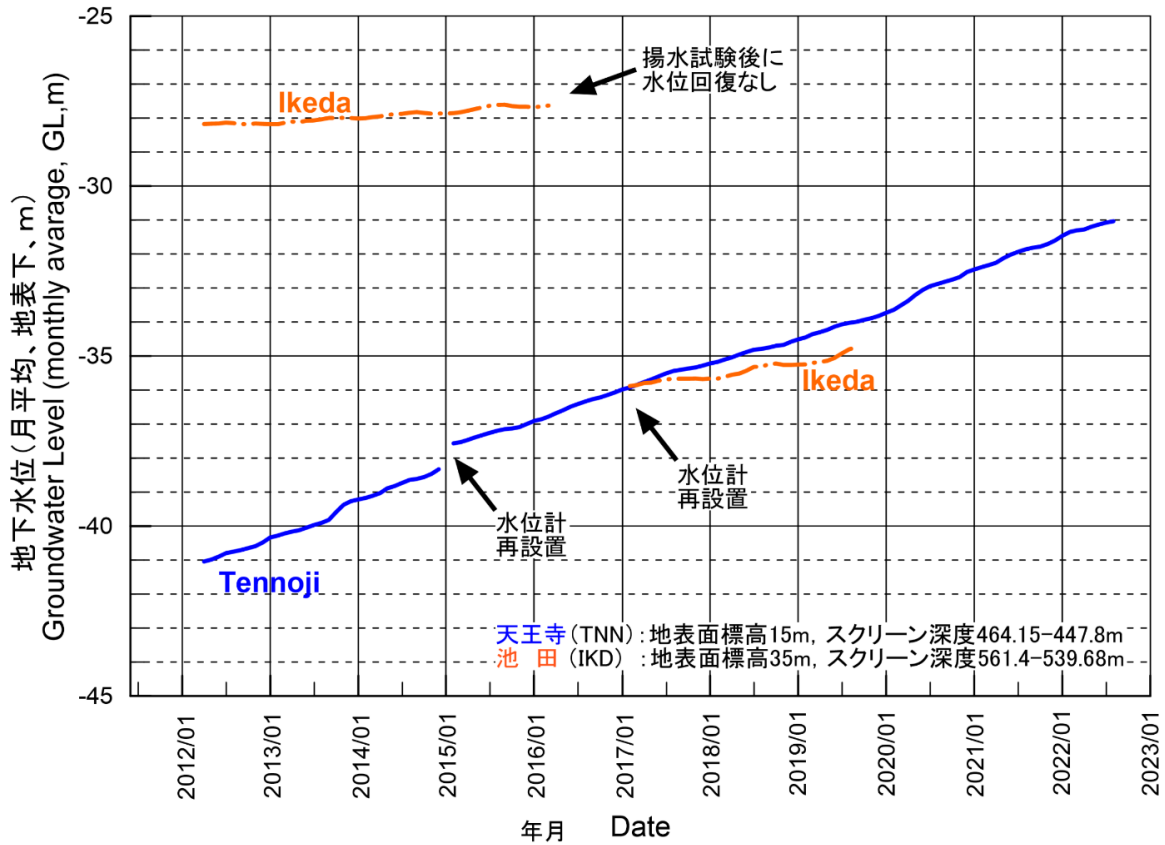


図7 産業技術総合研究所が保有する観測井の地下水水位変化

大阪府北摂・東大阪域地盤沈下水位観測井

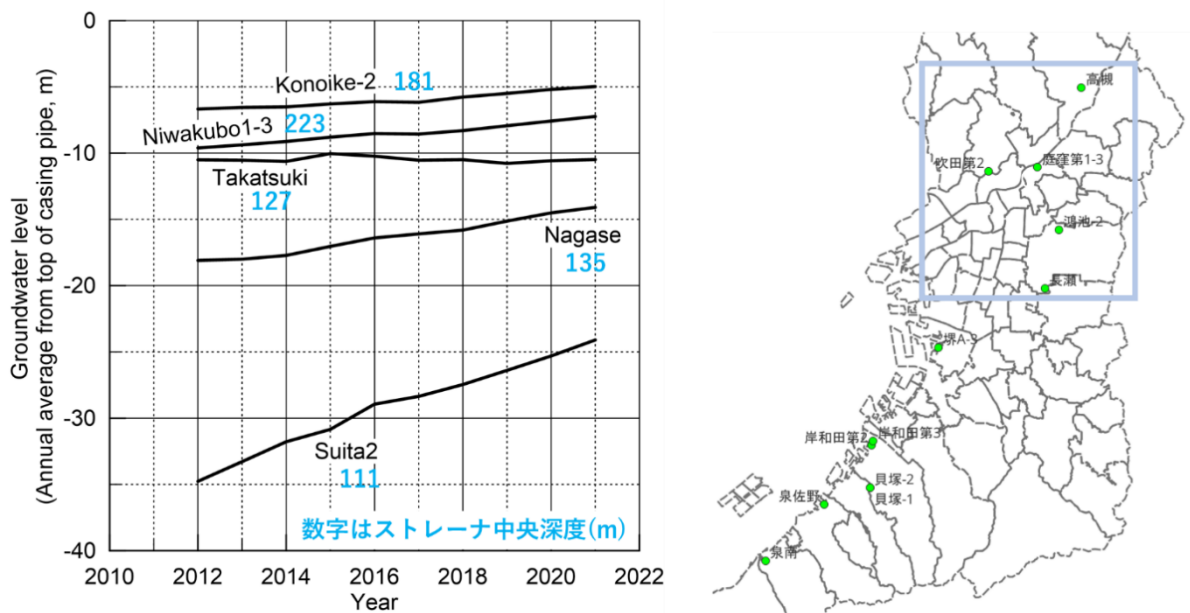


図8 大阪府内の地盤沈下水位観測井における地下水水位変化 (北摂地域・東大阪地域)

大阪府堺・泉州域地盤沈下水位観測井

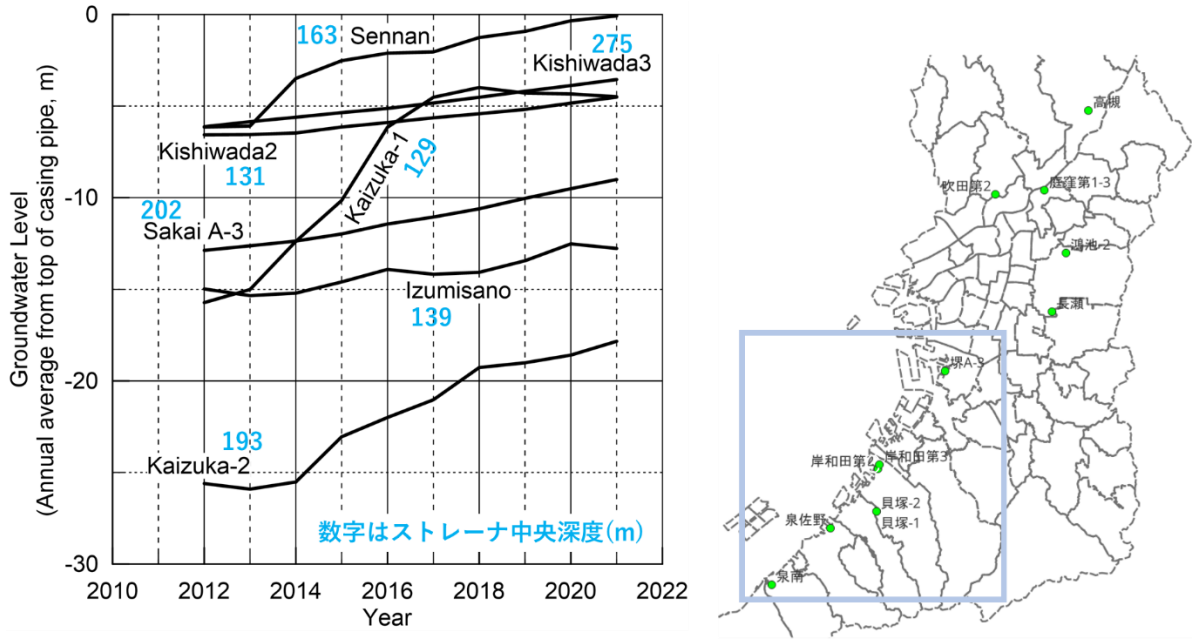


図9 大阪府内の地盤沈下水位観測井における地下水位変化（堺・泉南地域）

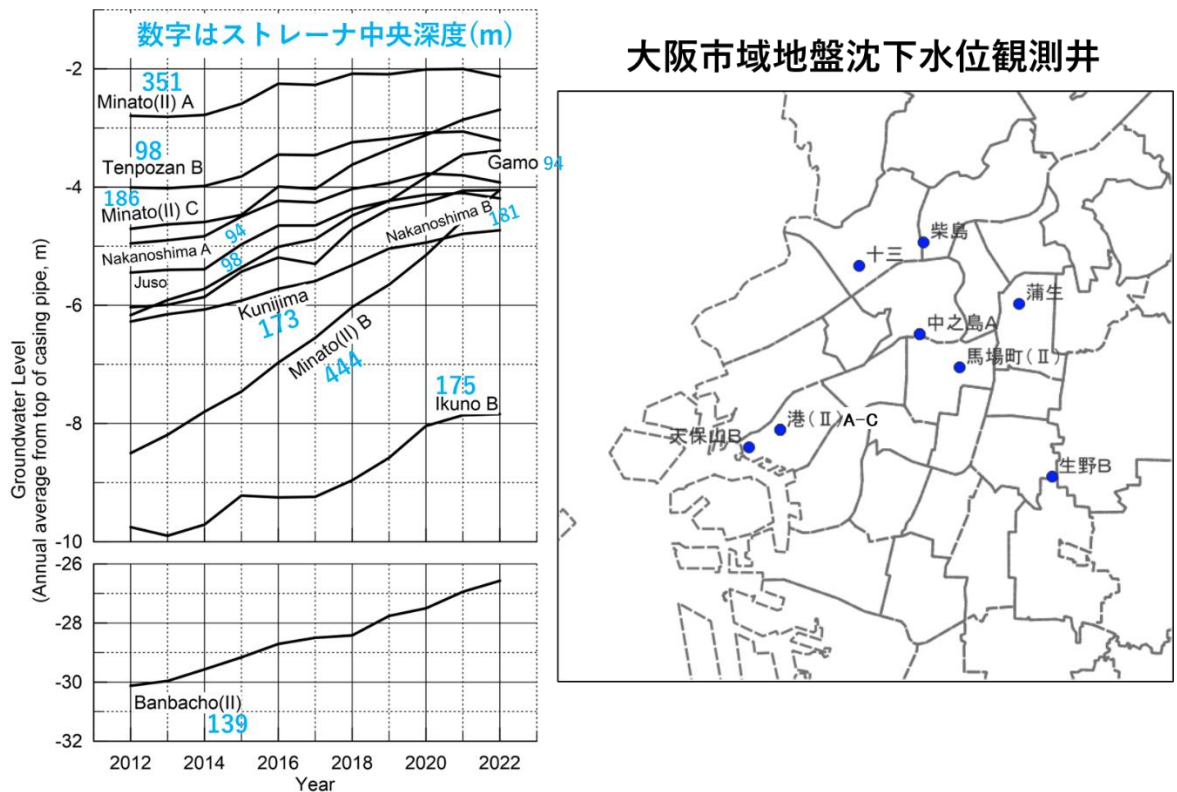


図10 大阪市内の地盤沈下水位観測井における地下水位変動

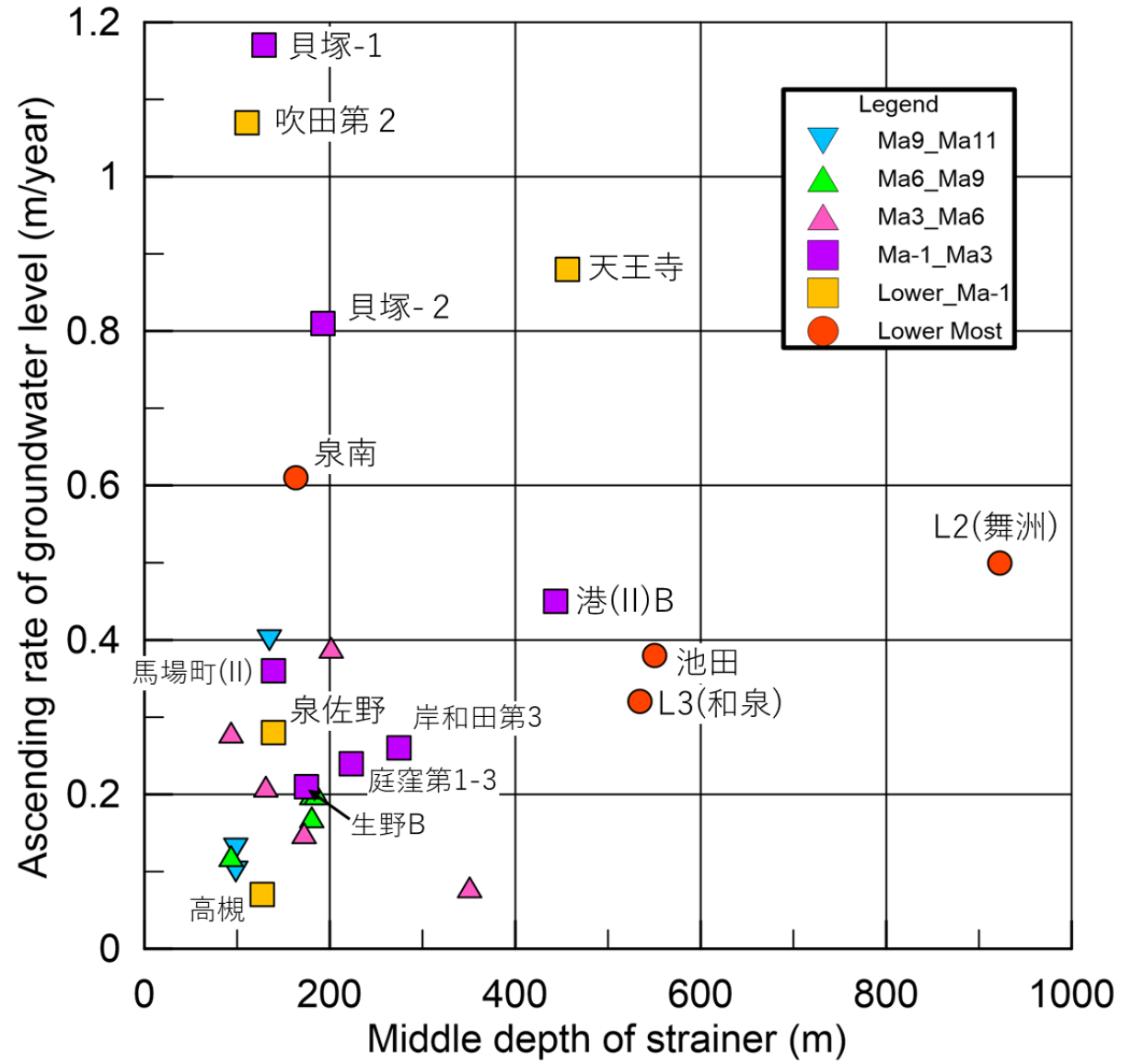


図 11 帯水層ごとの水位上昇率

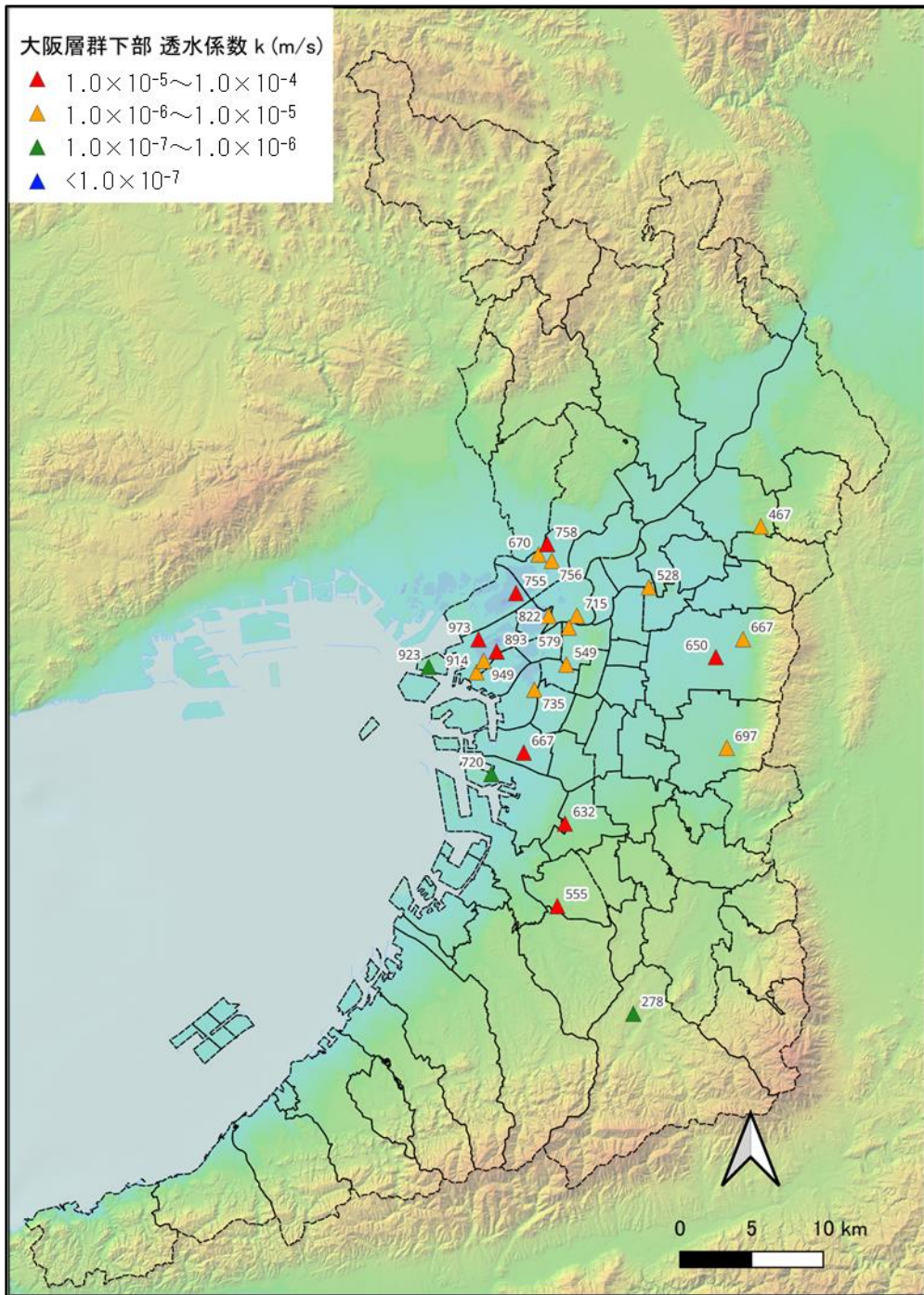


図 12 大阪層群下部層の透水係数 (数字はストレーナー設置深度)

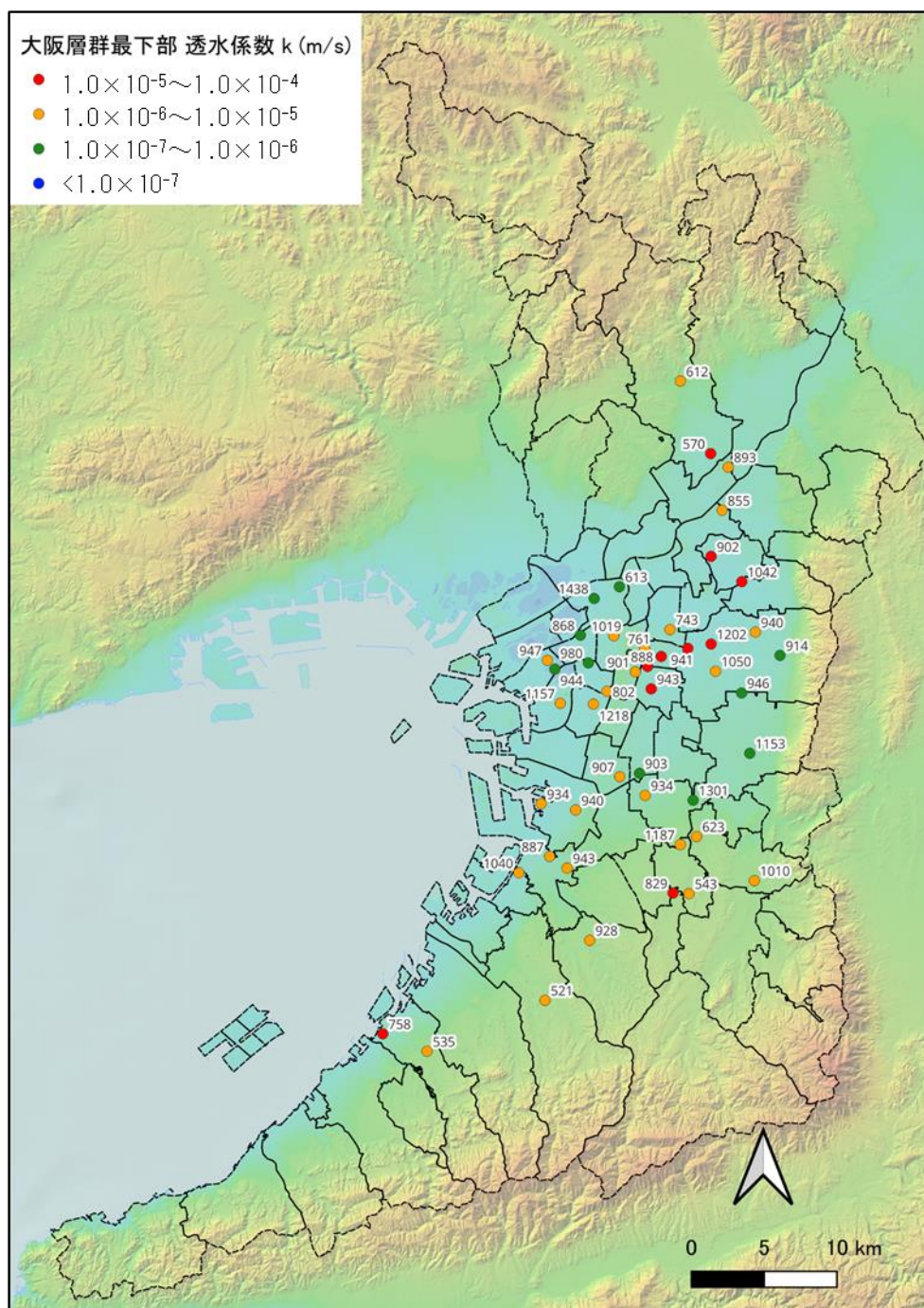


図 13 大阪層群最下部層の透水係数（数字はストレーナー設置深度）

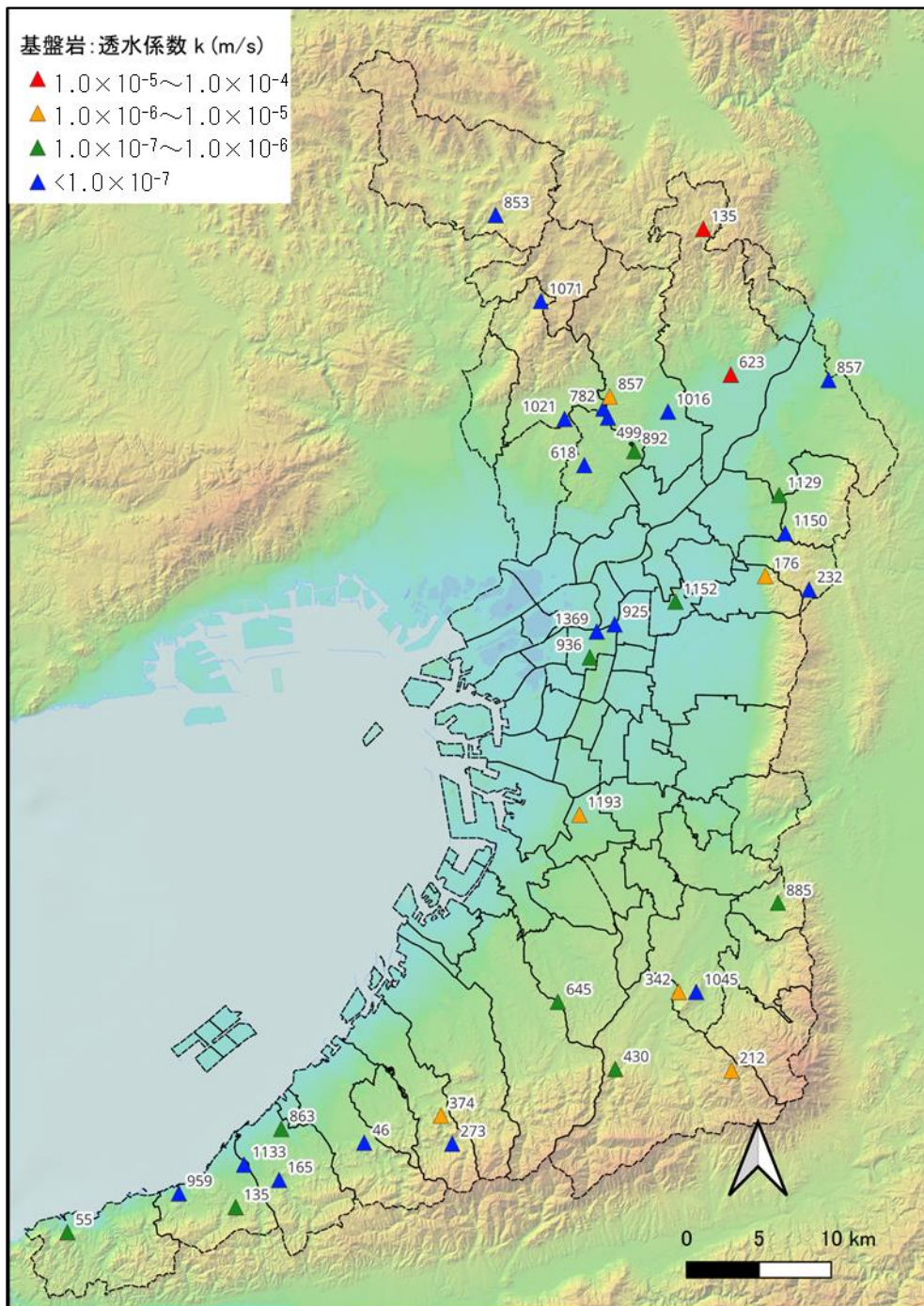


図 14 基盤岩の透水係数 (数字はストレーナー設置深度)



图 15 採水地点

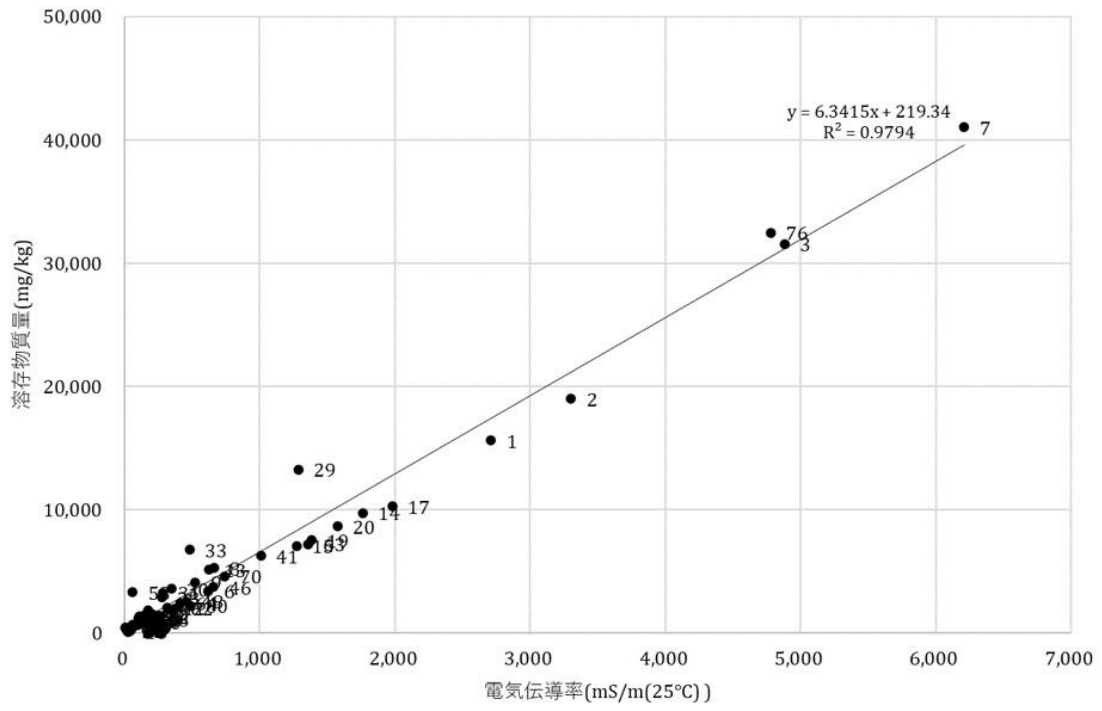


図 16 溶存物質量と電気伝導率の相関関係

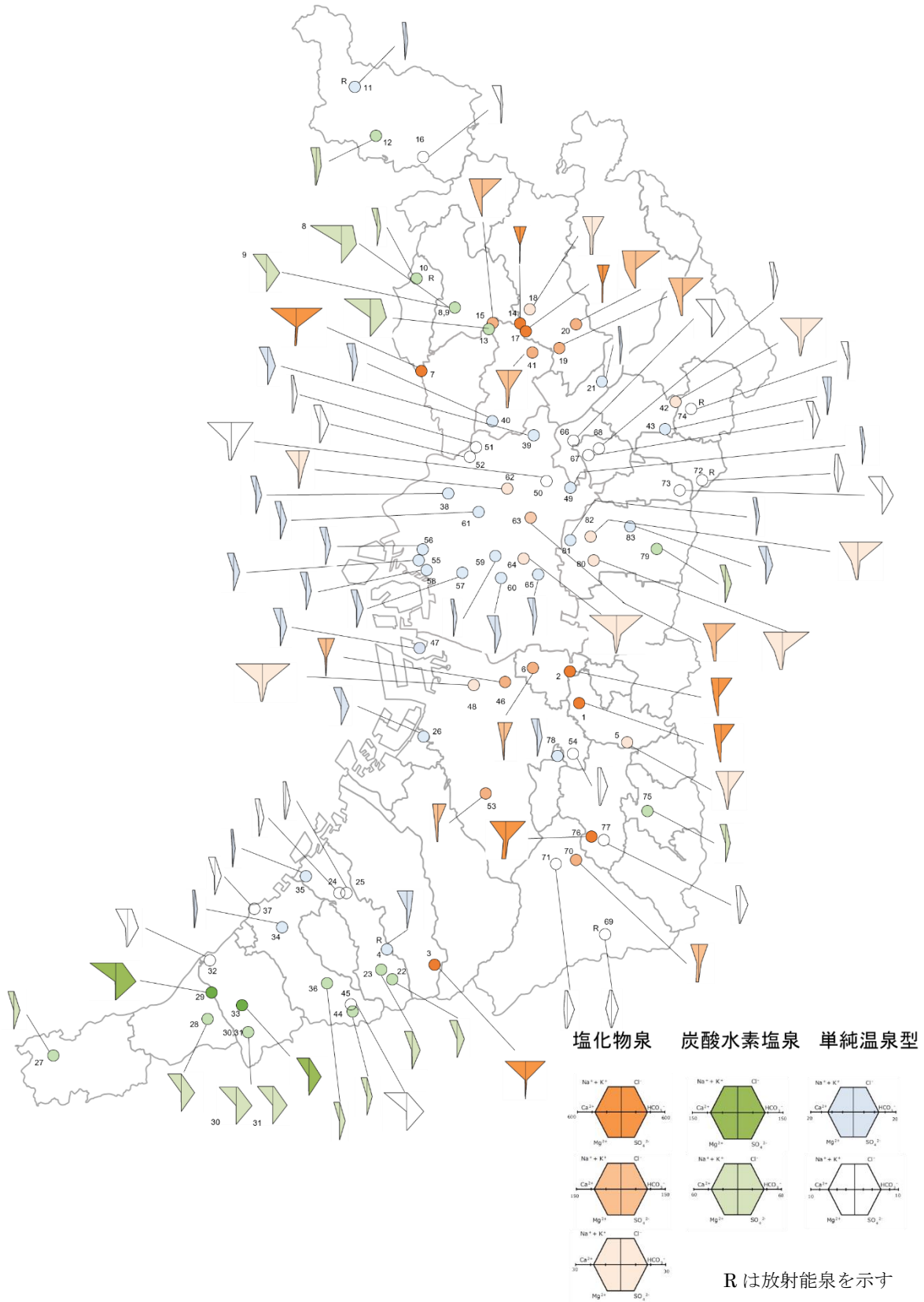


図 17 温泉水の主成分組成を示すヘキサダイアグラム

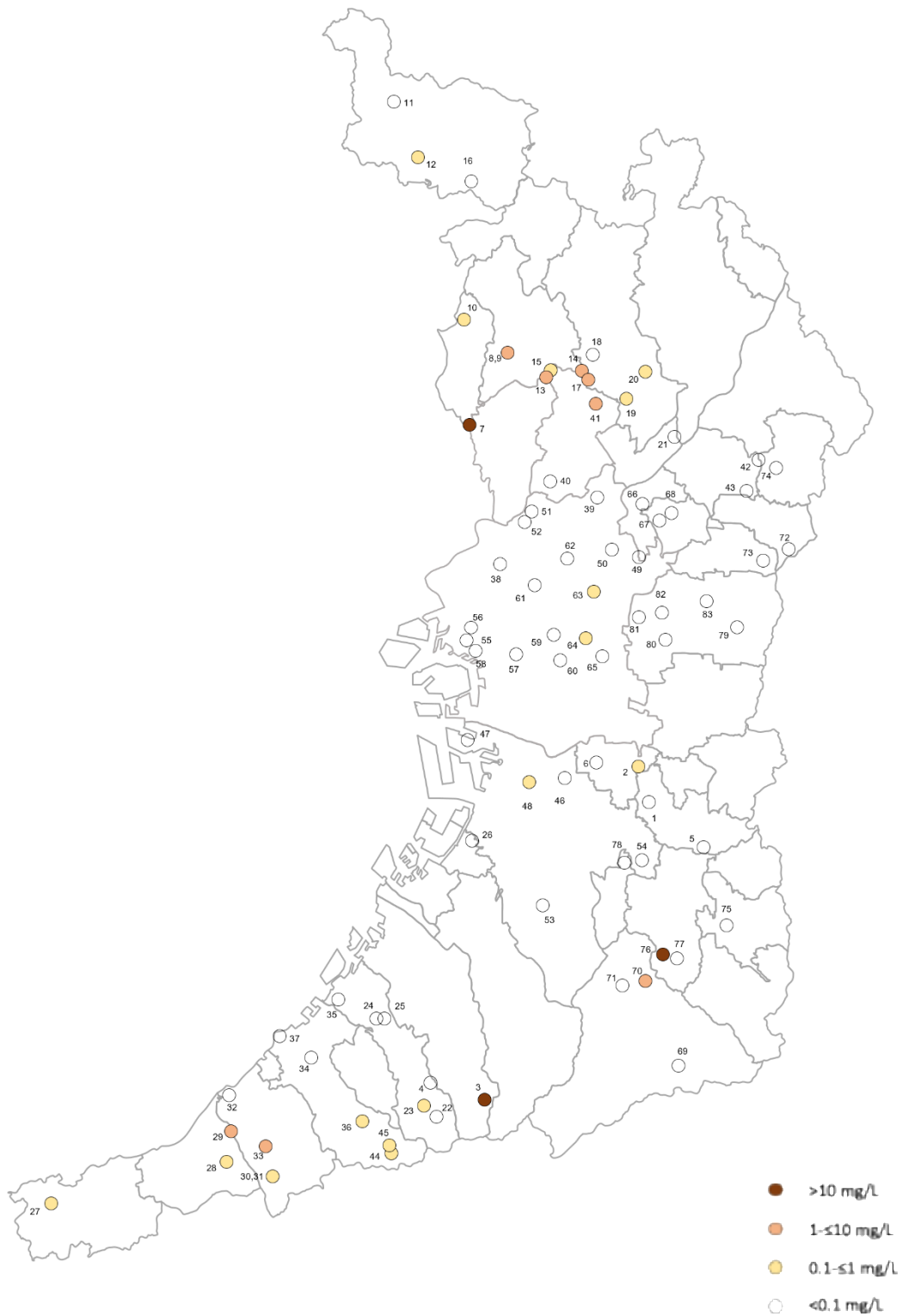


図 18 リチウムイオンの濃度分布

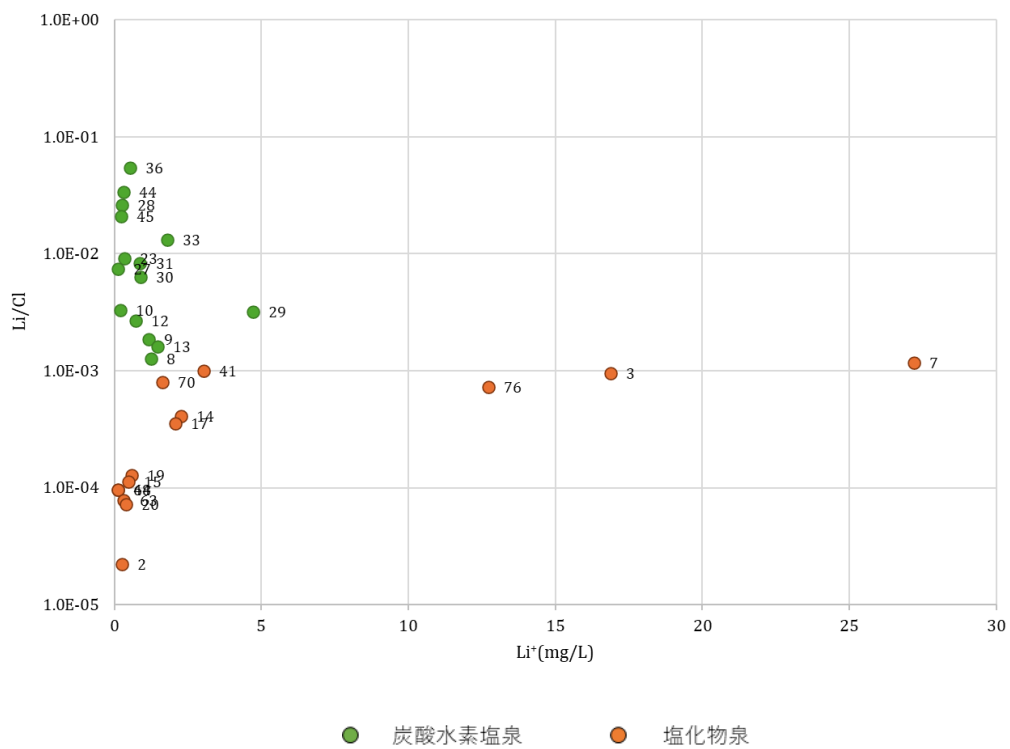


図 19 リチウムと Li/Cl 比の関係

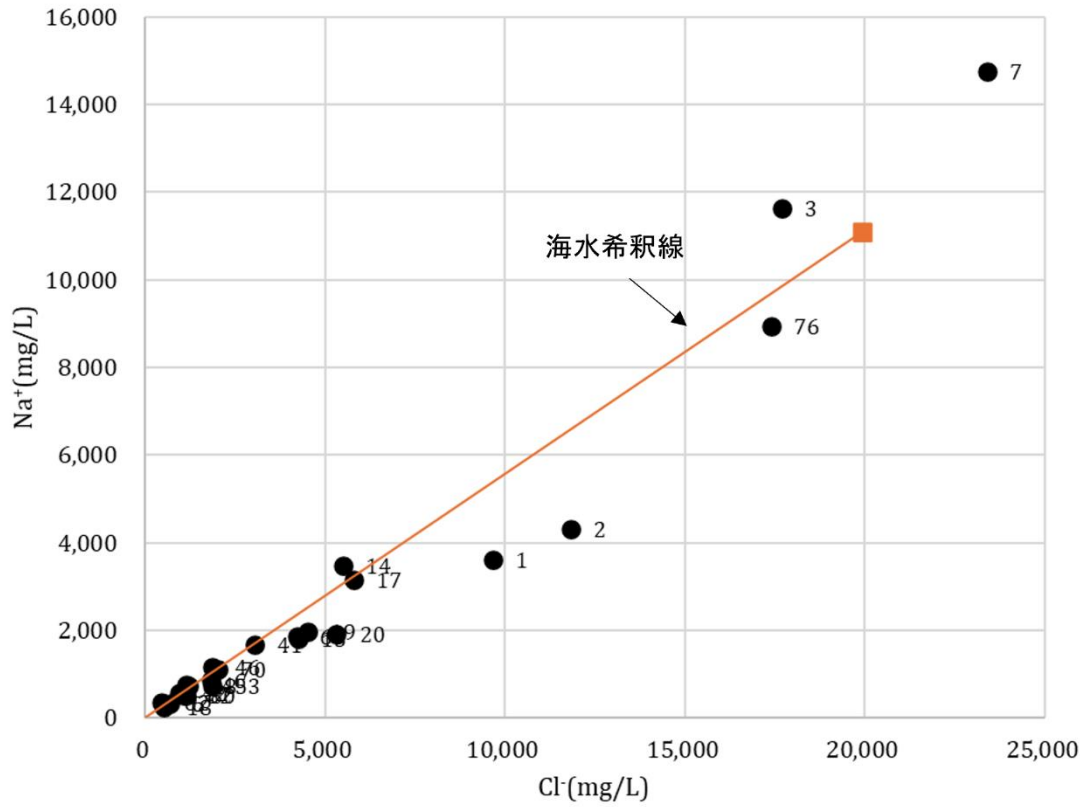


図 20 塩化物イオン及びナトリウムイオンの関係

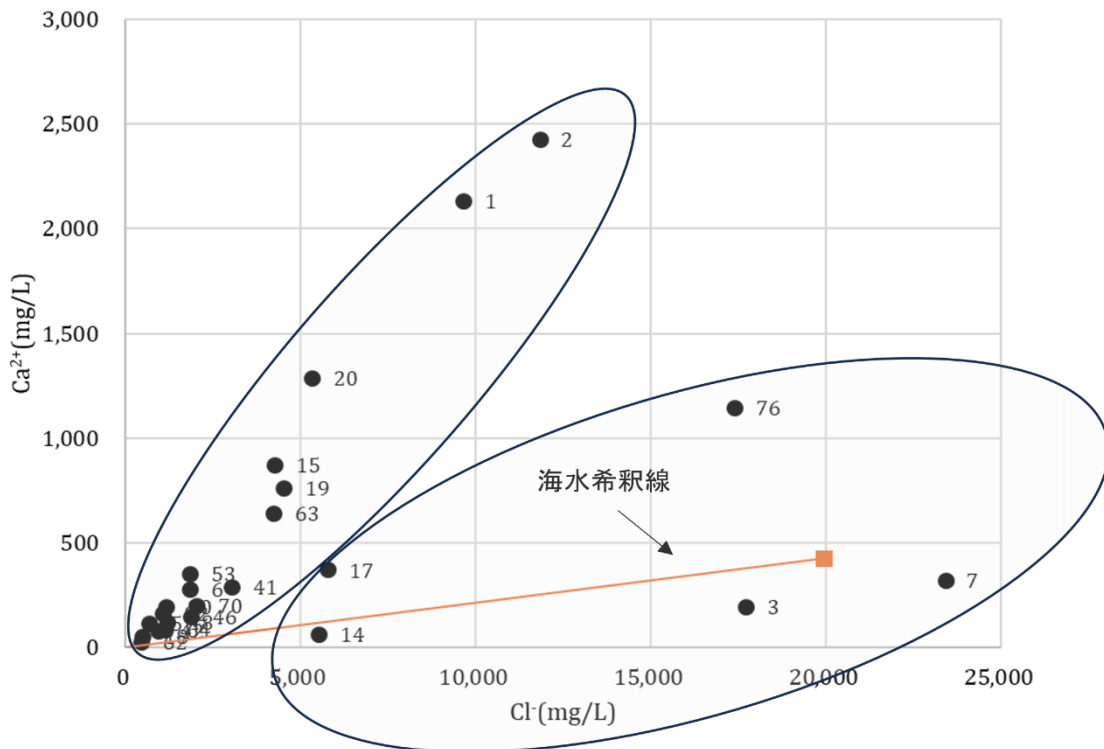


図 21 塩化物イオン及びカルシウムイオンの関係

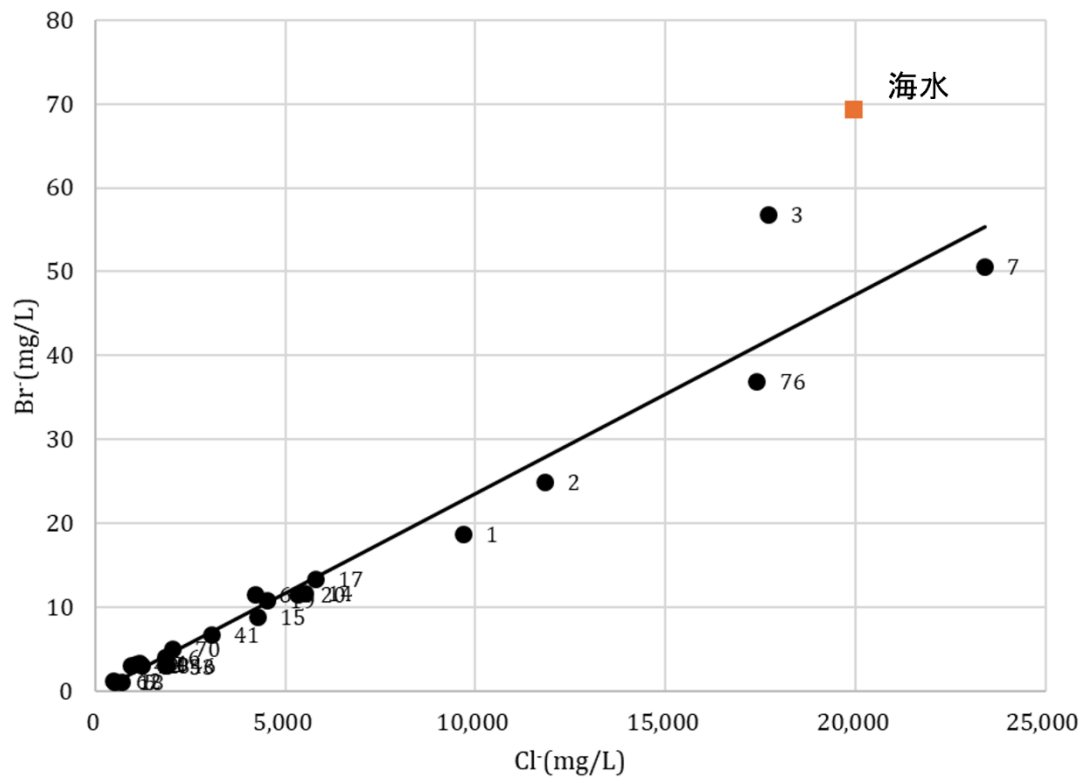


図 22 塩化物イオンと臭化物イオンの関係

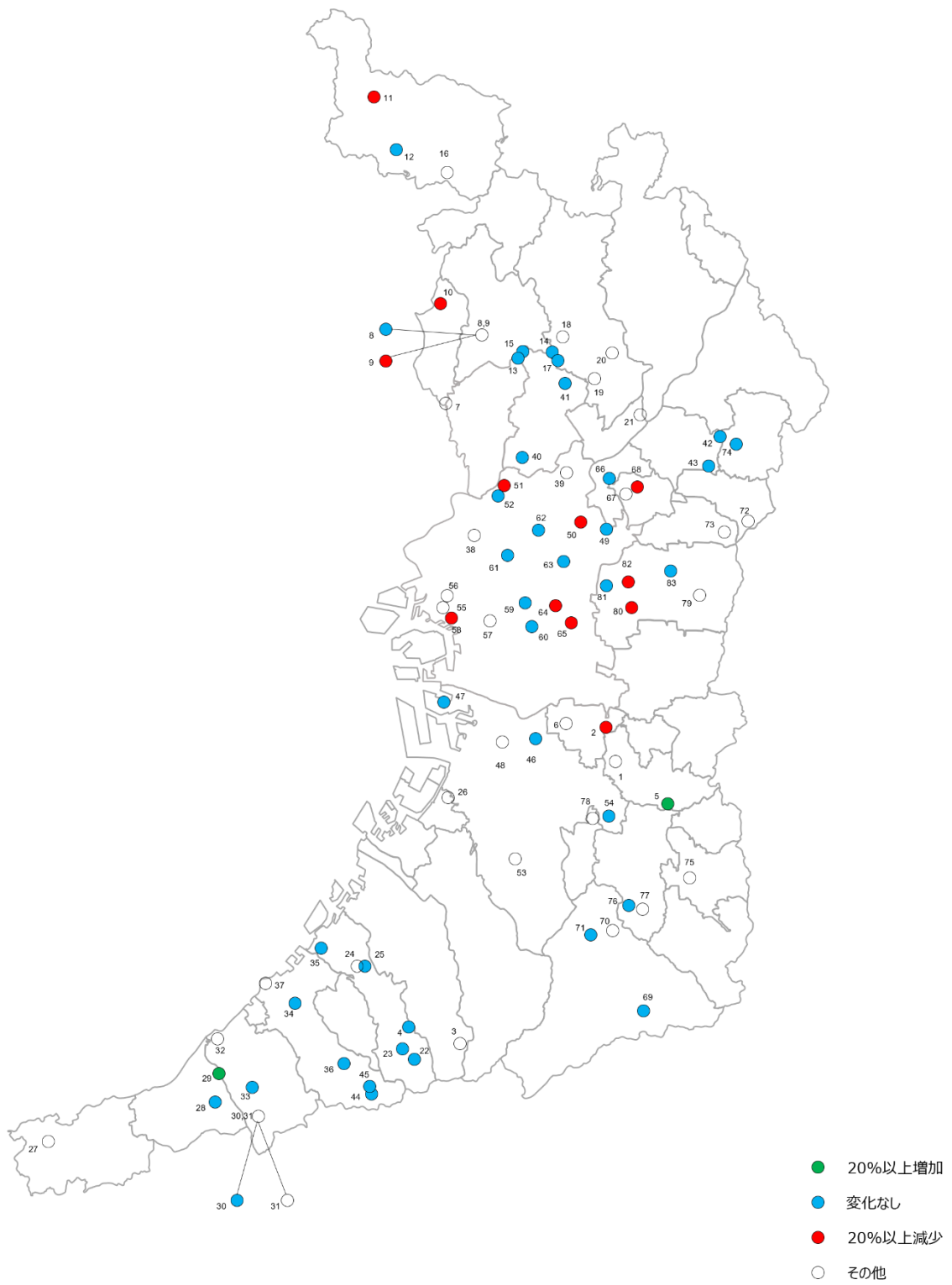


図 23 温泉井戸における塩濃度の変化

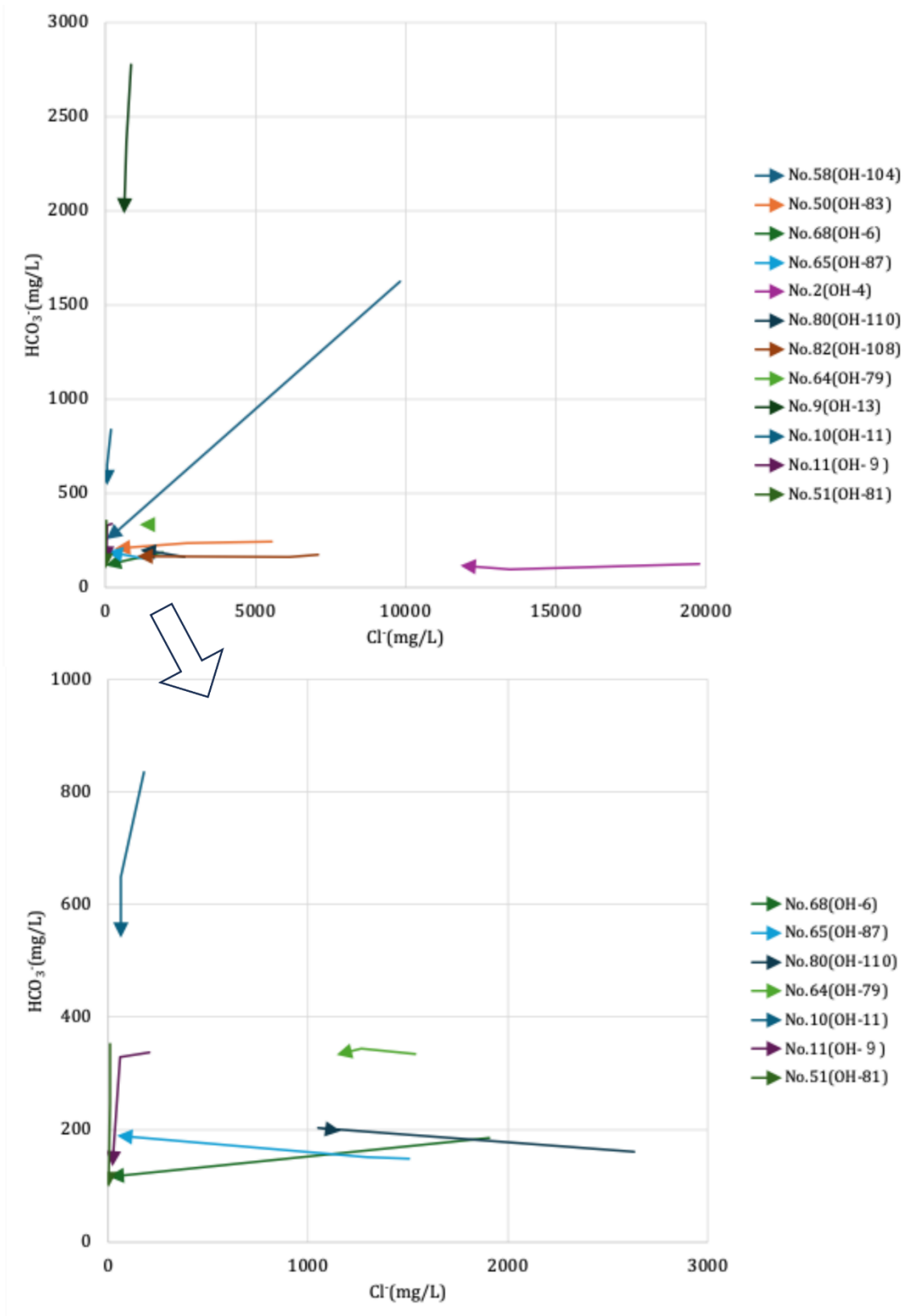


図 24 主要成分濃度の経年変化 (減少した 12 地点)

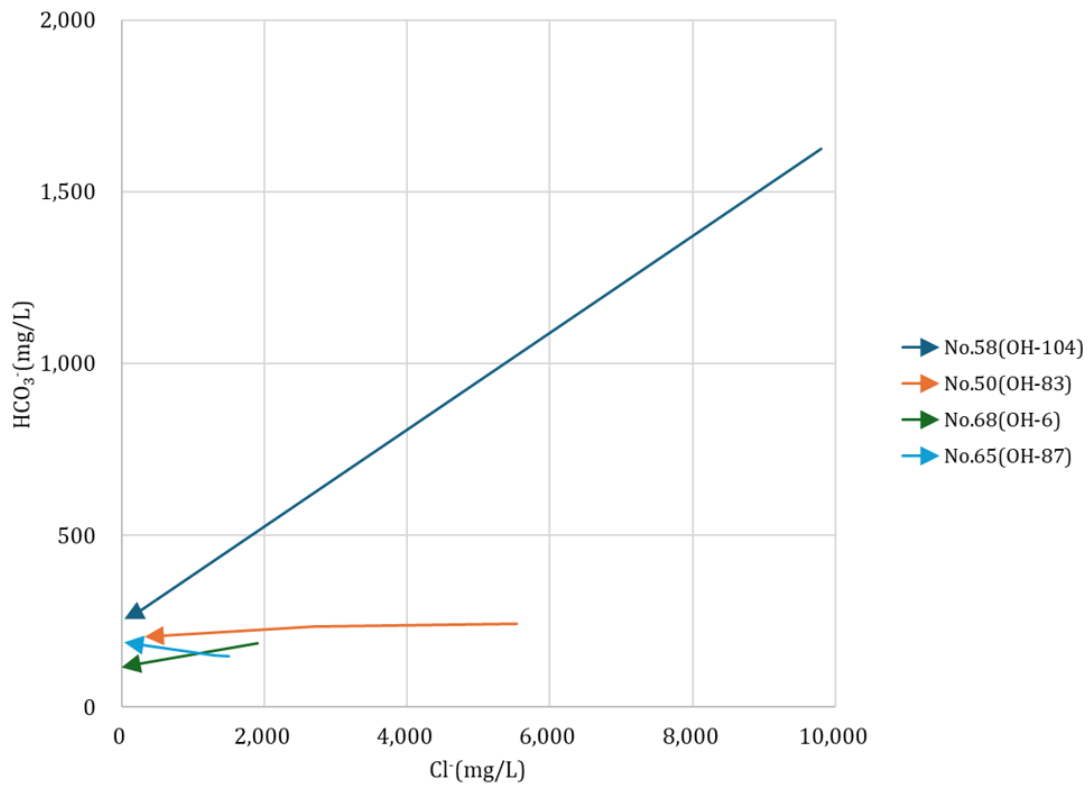


図 25 主要成分濃度の経年変化 (減少が顕著な地点)

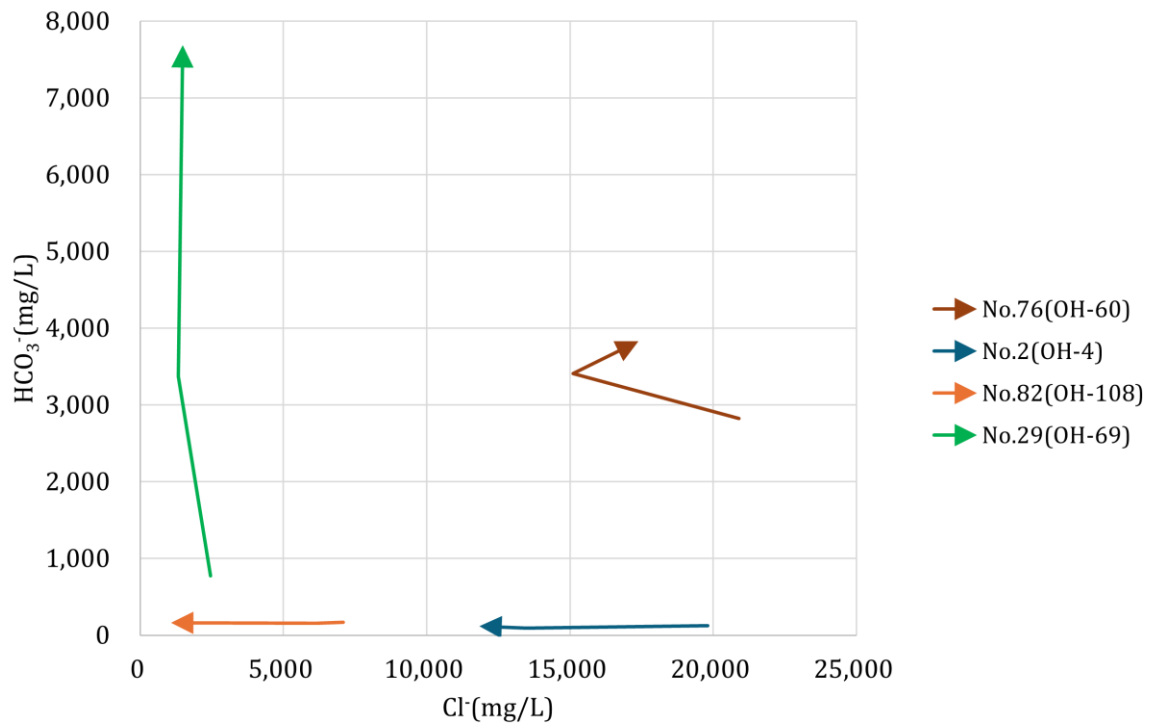


図 26 主要成分濃度の経年変化 (Cl⁻及び HCO₃⁻が 7500mg 以上の源泉)

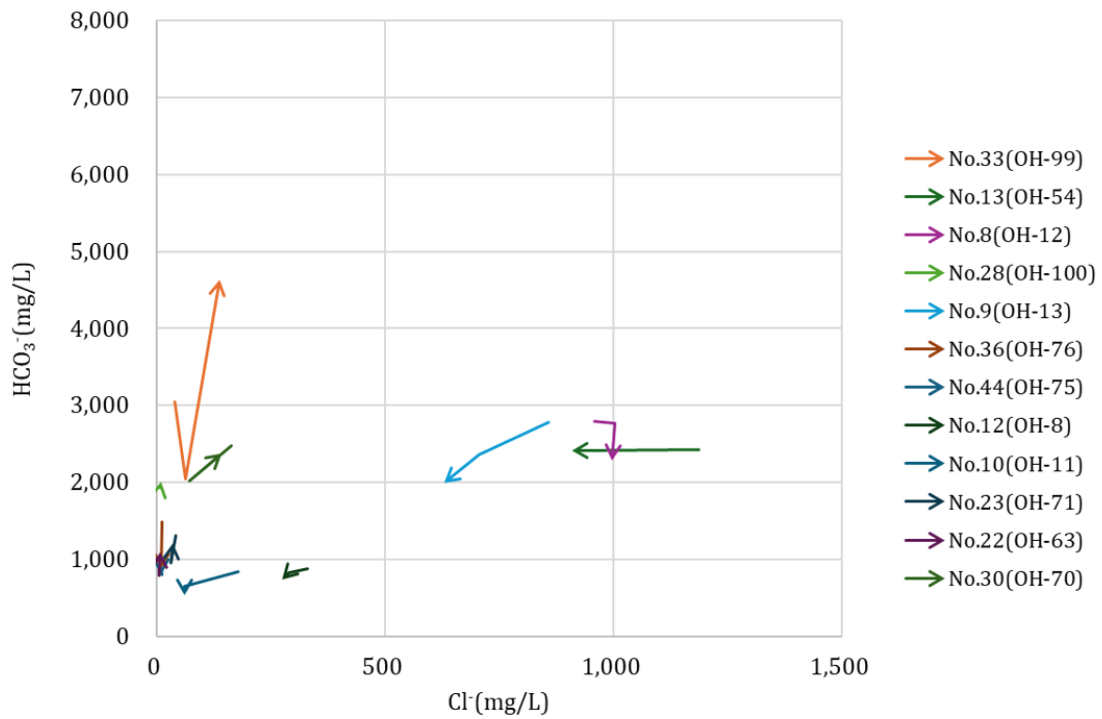


図 27 主要成分濃度の経年変化（炭酸水素塩泉（No.29 除く））

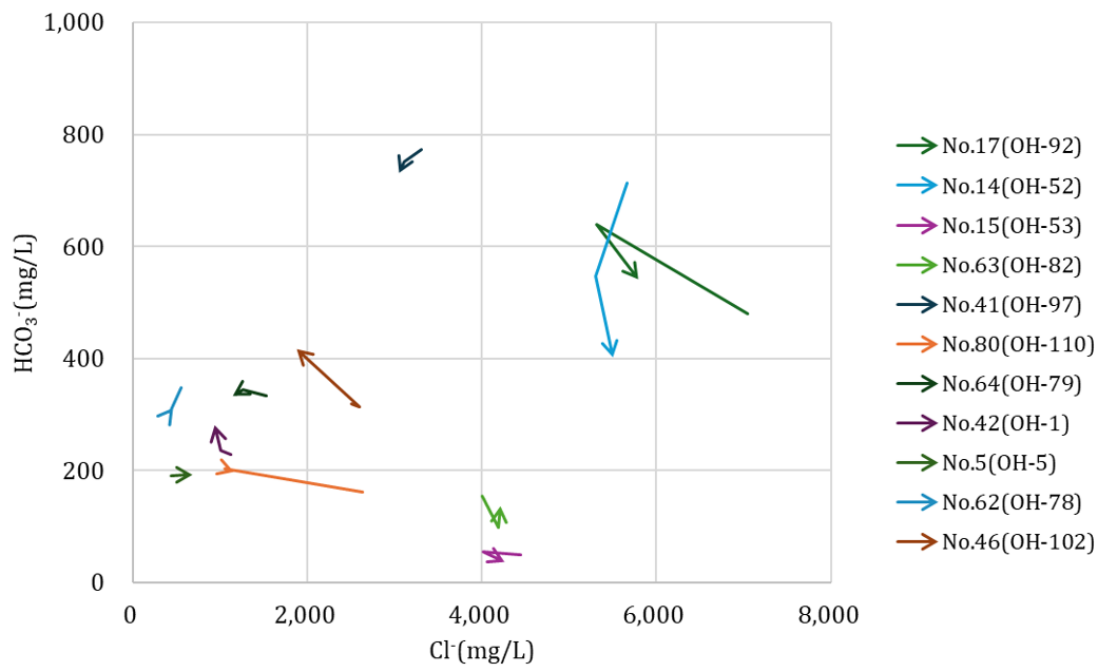


図 28 主要成分濃度の経年変化（No.26、76、82 除く）

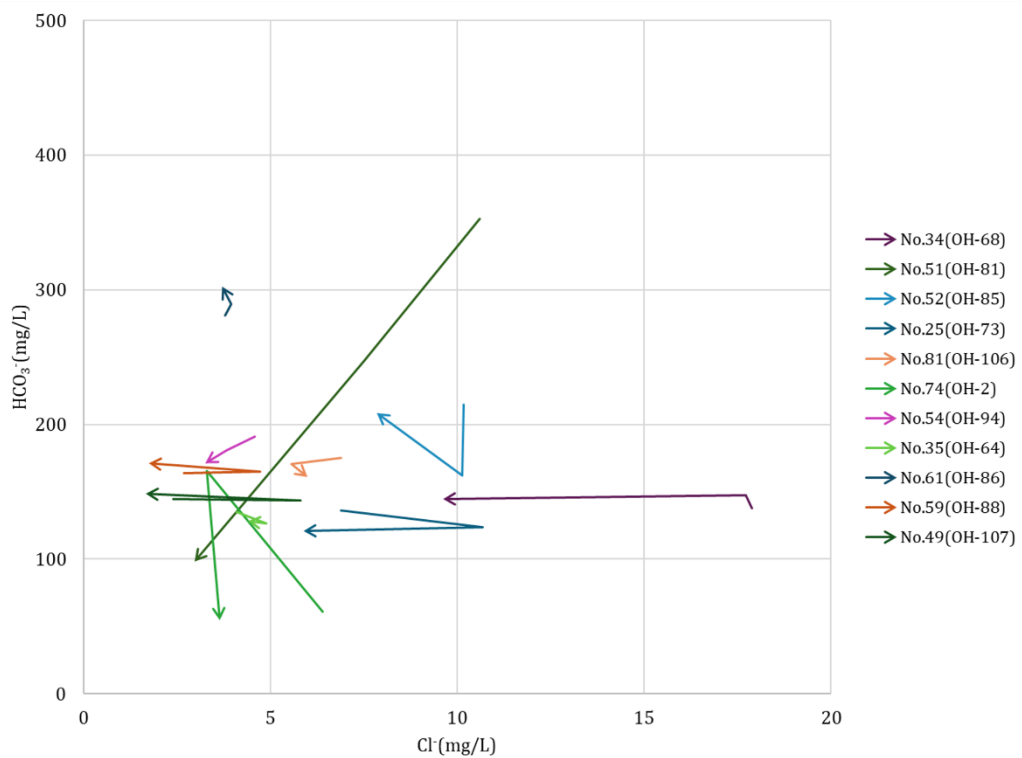
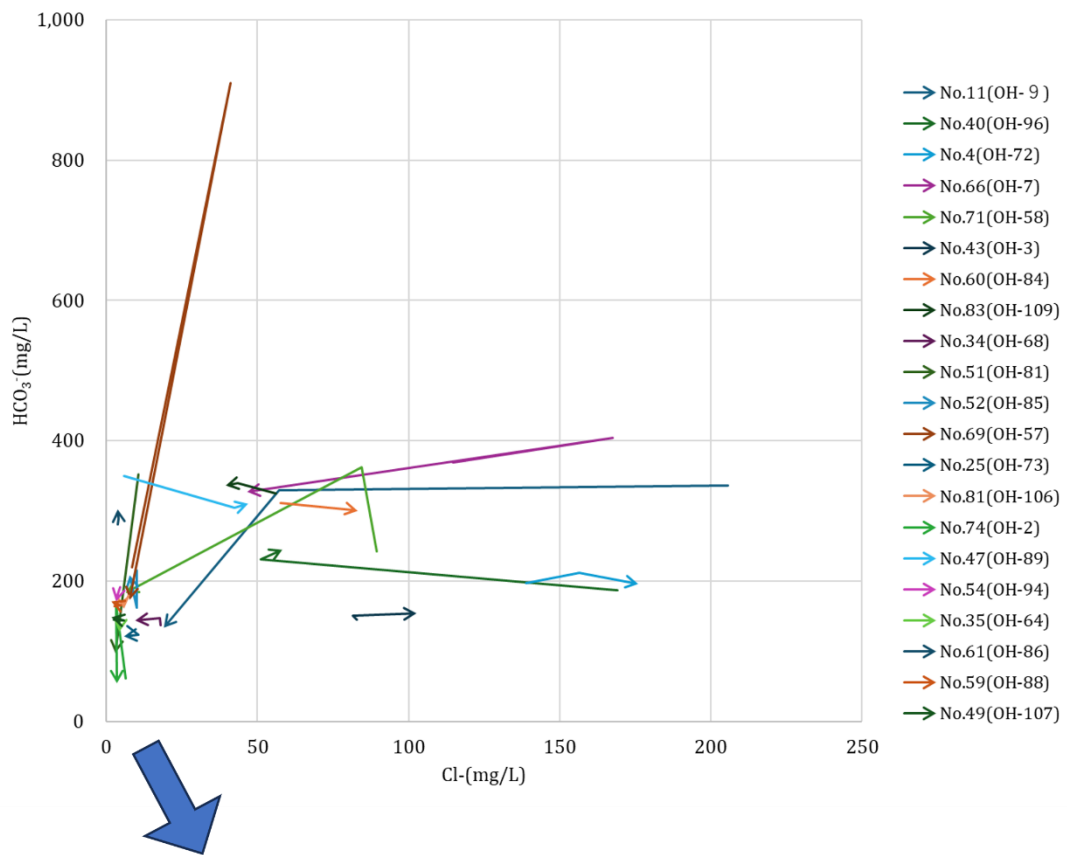


図 29 主要成分濃度の経年変化（炭酸水素塩泉及び塩化物泉以外の源泉）

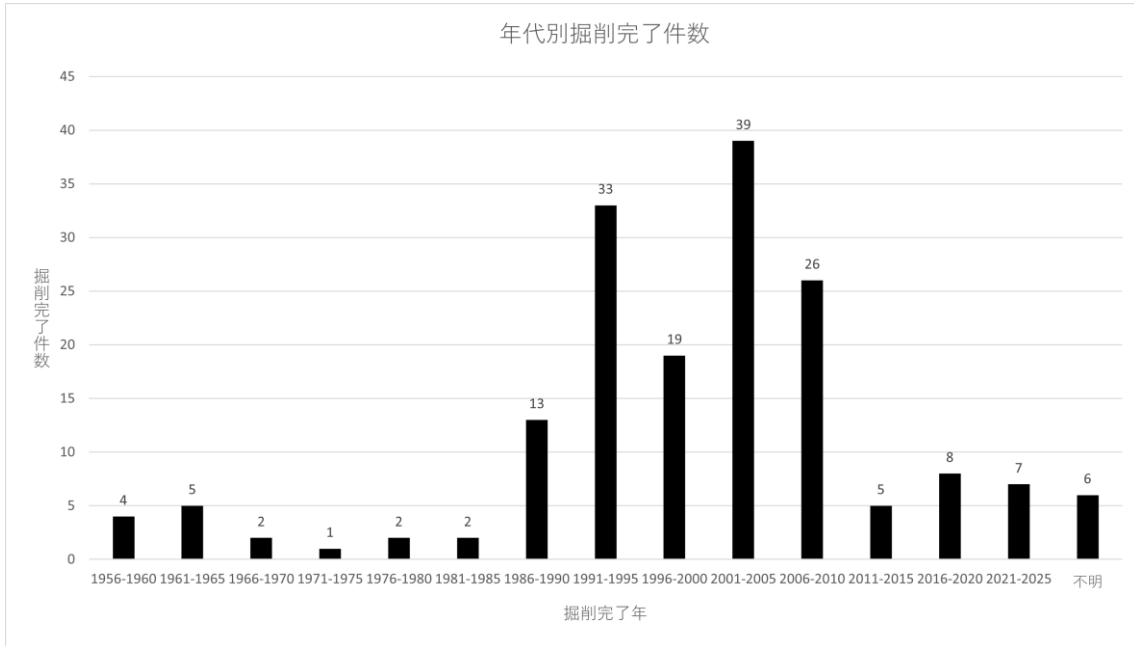


図 30 府内源泉の年代別掘削完了件数